

序

山口昌男

川上先生は、北海道三石郡三石町字本町に、昭和七年五月一三日に生を享けられた。私はその前年網走郡美幌町に生まれているから、同じ北海道では南と北の両極に互いが位置するわけである。北海道南部の高校で教鞭を取られ、平成八年三月函館高等専門学校を定年で退職後、平成九年四月札幌大学文化学部に着任し、この平成一五年三月札幌大学を定年退職されることになった。

先生の御仕事は主として「枕草子」「源氏物語」の国文法的研究に限られているが、『万葉集』の七夕歌―漢詩と比較して―』として「万葉集」も取り挙げて、札幌市浦高会で講演して居られる。このままで行くと、退官後は菅原道真の詩なども論じ、大変な方向を拓いて下さるような気配を感じ、平安期和漢混淆文などと共に悠々と学問を展開して下さいさるような気がしてならない。御長寿と御健康と共に記念論文集の序とさせていただきます。